

福祉センター のご案内

福祉センターは、お年寄りの健康増進、はりのある生活を送るためのレクリエーションやしあわせの里づくりの場として活用されるほか、障害者の療育相談及び訓練等広く地域福祉交流の場としても活用されています。

福祉バスは、教養活動や社会研修等幅広く運行されています。バスの運行計画の調整で日程表に変更が生じた時は各会長さんに連絡いたしますのでご注意ください。

なお、都合によりバス配車時間が十時頃になりましたのでご了承下さい。

※文化会館事務室内のボランティアの相談コーナーをご利用下さい。

日 程 表

▽利用時間：10時～4時

月・日	曜日	地 区
9・20	金	引の田・戸沢
9・21	土	自由利用
9・22	日	自由利用
9・25	水	田 野 倉
9・26	木	舞踊教室・民謡教室
9・27	金	老人大学
9・28	土	自由利用
9・29	日	一般身障者保養教室
10・1	火	十日市場
10・2	水	弁 天 町
10・3	木	大正琴教室・機能訓練 身体支障者
10・4	金	羽根子・鷹の巣
10・5	土	自由利用

月・日	曜日	地 区
9・6	金	自由利用
9・7	土	自由利用
9・8	日	母子福祉会・造花作り教室
9・10	火	上・下大幡・高畑
9・11	水	上 町
9・12	木	舞踊教室・民謡教室
9・13	金	境
9・14	土	自由利用
9・17	火	桂 町
9・18	水	古 渡
9・19	木	大正琴教室・詩吟教室

ひとり暮らし老人 地域介助組織 上谷地区に発足

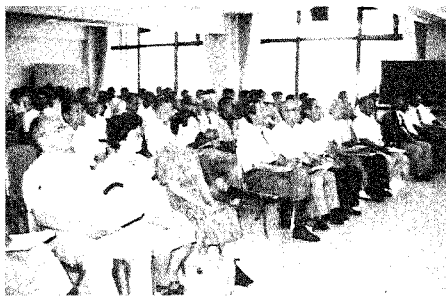
八月三日、文化会館において、ひとり暮らし老人地域介助組織発足式が開催されました。

この（ひとり暮らし老人地域介助）組織とは、ひとり暮らしのお年寄りを地域ぐるみの大きな輪の中で日常の気くばりを行い、明るい暖かい心のふれあいを基調とした、老人愛護の気風を培うことを目的としています。

具体的には、朝夕に訪ねたり、電話を掛けたりして「あいの一声」運動を展開して行く予定です。

本年度は、市内のひとり暮らし老人が四十七人と比較的多い上谷地区を選定し、民生委員、自治会長が中心となって準備を進めてきました。

発足式では、高部通正市長より同地区内のひとり暮らし



一人暮らし老人のために集った、上谷地区の方々「もう安心ですよ」

新着図書のご案内

八月に購入した図書は次のとおりです。皆様のご利用をお待ちしています。

◇一般図書◇

ギネスブック マクワター
発校拒否の深層 井上 敏明
動物は地震を予知する
カメラ事典 上野 千鶴子

◇児童図書◇

外百二十二冊
わたり鳥のくる干潟 国松 俊英
トコトコ登山電車 渡辺 一夫

女重役 清水 一行
教え子の娘 三好 京三
美獣 上・下 高千穂 遥
星の岬 原田 康子
おお、定年 加藤 仁
偶然の犯罪 ハットン

キタキツネのおか
はじめてのキャンプ 林 明子
ナミの海をかえして 吉村 証子
樋口一葉ものがたり 日野 多香子

◆市福祉事務所

☎(43) 1111 内線 276

老人地域介助協力者一四六人に協力依頼書を交付しました。このあと、自治会別事例発表があり、最後に県厚生部医薬課の望月弘子衛生指導監による「長寿社会への対応について」の講演がありました。

次のようなお気持ちで、ひとり暮らしのお年寄りを見守ってあげて下さい。

(一) 一日一回心のこもった一言を！

(二) 窓が締まったままだったり、燈火がおそくまでついていたり、普段と違っていたらすぐ一声を！

(三) 朝夕の目配り気配りで変だと思われたら民生委員へ連絡を！

一般図書 百三十三冊
児童図書 九十二冊